

第六次柏崎市障がい者計画・柏崎市第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画の策定に係る障害福祉サービス事業所の事業計画調査 調査結果の概要【速報版】

- 1 調査目的 次期計画の策定に当たり、今後の障がい福祉施策を総合的かつ効果的に推進するため、事業者の今後の事業計画を参考にするため。
 2 調査対象法人等 柏崎刈羽地域で障害福祉サービスを運営する21法人
 3 回答数 21法人
 4 調査期間 令和7(2025)年12月26日～令和8(2026)年1月22日
 5 調査結果の概要(速報版) 下表のとおり

調査項目	概要・主な傾向	具体的な声・キーワード・課題等
① 運営方針とそれに基づく重点項目、事業計画、職員採用計画等	利用者の尊厳保持と地域生活の継続を基本としつつ、施設の老朽化やニーズ変化に伴う事業の再編・建て替え期を迎えている法人が多い。採用活動は継続しているが「人材不足」が極めて深刻。	・求人への応募が少ない、パート職員への依存
② 今後の事業の方向性	現在の定員規模を維持し、利用者の高齢化・重度化などの個別ニーズにきめ細かく対応する方向性が主流。無理な事業拡大は避け、適正規模を模索している。	・現状サービスの維持と質の向上 ・「就労選択支援事業」の実施検討 ・事業規模の適正化
③ 事業所を運営していく上での課題(サービス提供上の課題、人材確保、職員の質の向上等)と、その課題解決に向けて取り組んでいる内容(又は今後取り組む内容)	最大の課題は「深刻な人材不足」(有資格者、夜勤の担い手、若手)。利用者の重度化対応と人員不足のジレンマ、物価高騰による経営圧迫も大きな課題となっている。	【課題】 有資格者・夜勤者の不足、メンタル不調 【取組】 ハローワーク以外の求人開拓、学生への早期アピール、オンライン研修の積極活用、業務マニュアル整備、職員のメンタルサポート
④ 地域全体の課題と、その課題解決に向けて貴法人・貴事業所が取り組むことができる内容	「必要な時に必要なサービスを受けられない」という供給不足が課題(放課後等デイ、グループホーム等)。障害福祉から介護保険への移行ハードルも高い。	【地域課題】 需要と供給の不均衡、介護保険移行時の利用者負担額の増によるサービス調整の難航 【法人の取組】 困難ケース(強度行動障害等)の受け入れ努力、一般就労への移行支援による地域貢献
⑤ 障害福祉サービス等の質を向上するために実施している取組等	人員不足により外部の集合研修への参加が困難な中、オンライン研修を導入し、全職員が受講できる環境整備が進んでいる。日常業務内での情報共有も徹底している。	・オンライン研修(WEB研修)の積極的な導入 ・月例ケース会議、ヒヤリハット・事故の共有 ・虐待防止チェックシートの定期的活用 ・介護福祉士等の資格取得の法人支援
⑥ 「新規サービスの実施予定」又は「既存サービスの拡充(定員増等)の予定」(サービス名、開始予定年度、定員等)	大半の事業所が「実施予定なし」または「現状維持」。現在の人員体制では新規展開は困難な状況。	・大半が「予定なし・現状維持」 ・複数法人:就労選択支援事業の実施に向けた準備
⑦ 「新規サービスの実施」又は「既存サービスの拡充」をする場合の課題等	圧倒的な「人材確保の壁」が最大の障壁。また、建設資金の高騰、物価高による経費増等の不安が大きい。	・人材確保の壁(人口減少下での確保難) ・建設資金、車両購入・維持費、物価の高騰
⑧ 柏崎市の障害福祉施策に関する意見・要望等	柏崎市独自の財政支援(夜勤手当補助等)への感謝と継続要望が多数。中長期的な人材確保策や、制度移行・基盤整備への支援が求められている。	・市独自の財政支援(資格取得補助等)の継続・拡充 ・10年、20年先を見据えた市全体の人材確保計画 ・介護保険移行への理解促進・支援 ・医療的ケア児対応のための看護師確保支援

※この他、「⑨ 今後のサービスの提供見込量」について調査を行っています。